

総合的な学習の時間指導案

横浜市立山下小学校

授業者 黒木 啓介

1 日時 平成26年11月19日(水) 5校時

2 学年・組 第6学年2組 37名

3 単元名 ネットマスターになろう ～正しいマナーを身に付けよう～

4 単元目標

様々な情報ツールを正しいマナーのもとで活用し、情報社会を主体的に生き抜いていくために必要な能力と態度を養う。

5 学校における情報教育の目標

- ・課題解決に必要な情報を主体的に収集・判断・表現し、受け手のことを考えて伝達する。
- ・情報やメディアの特性を生かした活用大切さに気づく。
- ・情報モラルを学び、より良い情報社会を創っていかうとする。

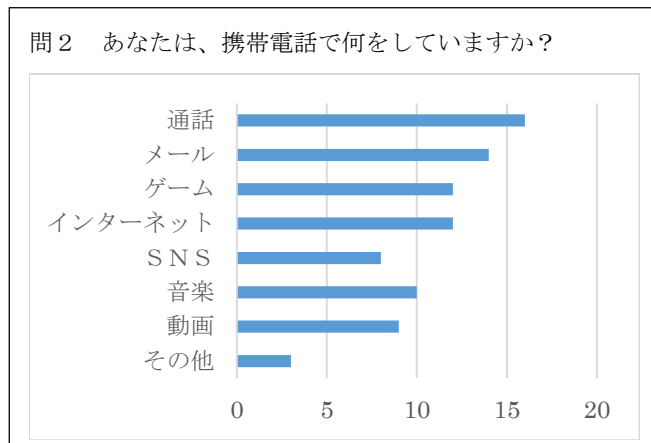
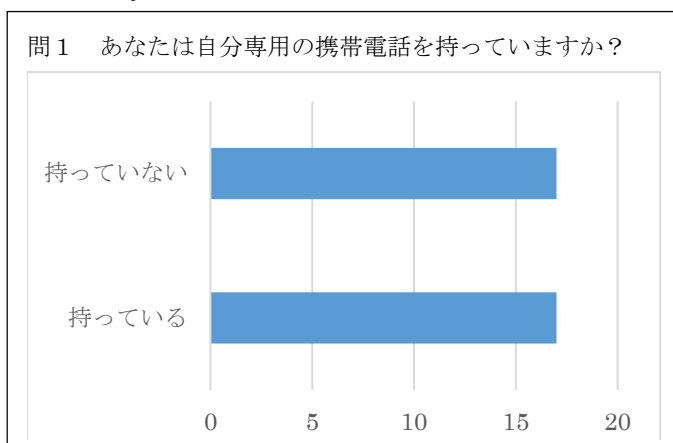
6 児童の実態

昨年度の本校の重点研では、「自分の考えを音声言語で表現する」というテーマで国語を、今年度は「自分なりの考えをもつ」というテーマで算数について研究を進めている。

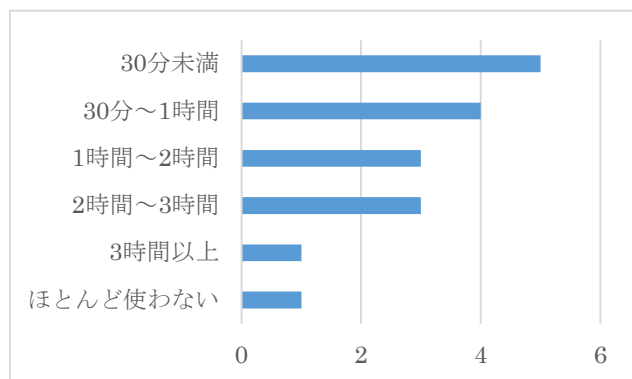
本校の児童の特徴は、非常に純粋で素直である。ところが、言われたことはするが、言われないとしない。すなわち、自分で考えて行動するという意識は低い。

本学級の児童に関しても同様で、係活動や当番活動などやるべきことがわかっている活動は熱心に取り組む。一方で、教室の床にごみが落ちていたり、朝、窓が閉まったりしたままでも、担任が声をかけるまでは気付かないことがある。

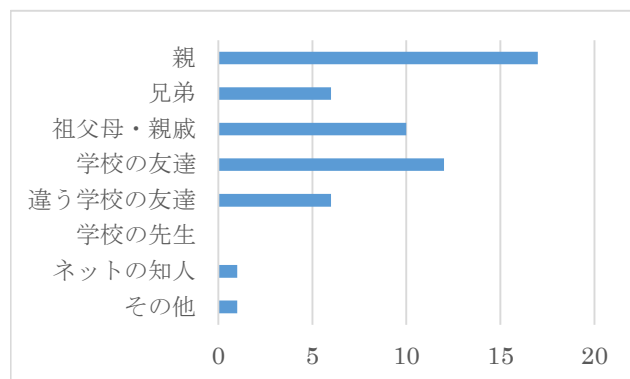
今回の学習を進めるにあたり、9月16日に「携帯電話の利用についてのアンケート」を行った。34人中携帯電話を持っている児童が17人、持っていない児童が17人と半々であった。私の予想以上の所持率で、またかなり使いこなしていることもわかった。心配なのは、携帯電話を持っていることで何らかのトラブルに巻き込まれたことのある児童がいるのに誰にも相談しない児童がいることと、家庭内での携帯電話の使い方に関するルールについてはばらつきがあることである。詳細については以下の結果を参照されたい。



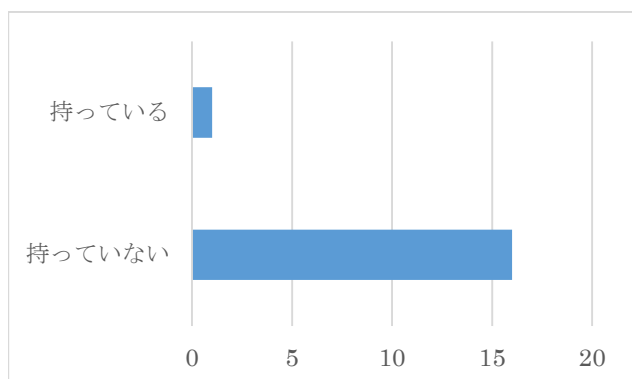
問3 1日にどれくらい携帯電話をさわっていますか？



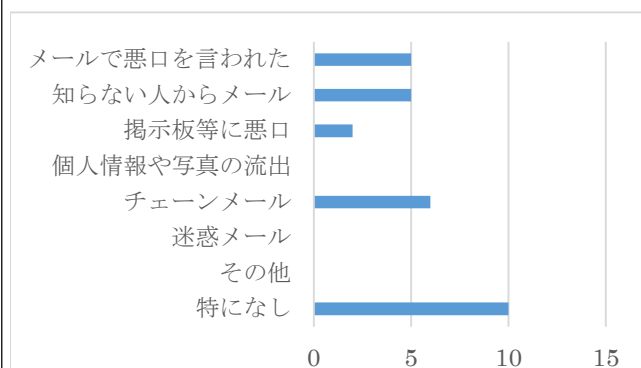
問4 メールやSNSで誰とやりとりをしていますか？



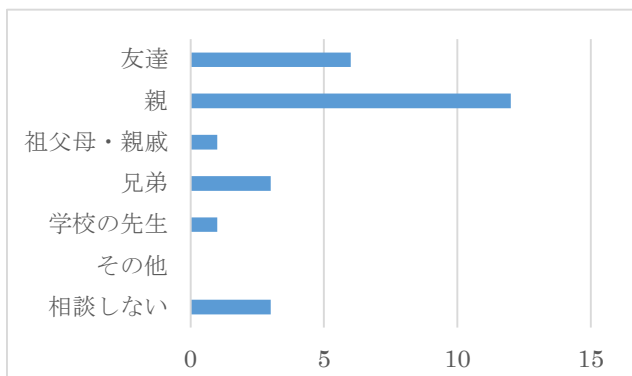
問5 自分のプロフやブログを持っていますか？



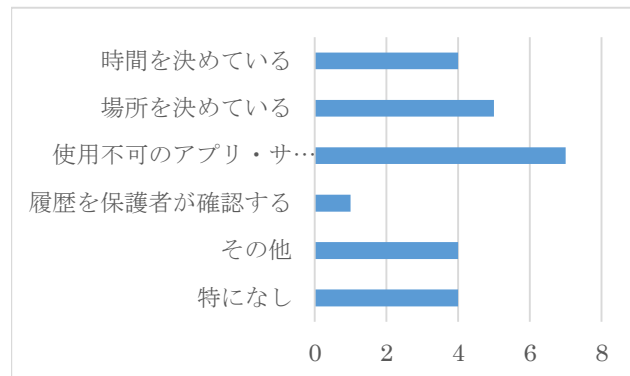
問6 あなたは携帯電話を持っていることで何かのトラブルに巻き込まれたことがありますか？



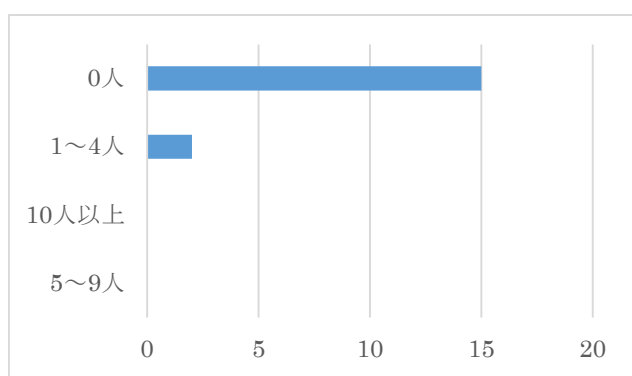
問7 問6のトラブルに巻き込まれた場合、誰に相談しますか？しましたか？



問8 あなたの家庭では、携帯電話についてのルールや決まりはありますか？



問9 あなたには、インターネットを通じて知り合った人がいますか？



7 題材設定の理由

近年、パソコンや携帯電話などは、その普及が進み、私たちの生活の必需品であるといえる。フィーチャーフォン（いわゆるガラパゴスケータイ又はガラケー）からスマートフォンへの移行が進むと共に、子どもたちの生活の中にも携帯電話が入り込んできている。パソコンは家庭に一台でも、携帯電話なら一人に一台の世の中である。

通話やメールができて、アプリを探せばゲームもできる。ネットで動画を見たり、音楽を聞いたりすることもできる。Facebook や LINE 等の SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）でグループを作り、学校で友人と直接会わずともやり取りができる。

このような非常に便利な情報ツールでありながら、携帯電話を悪用して小中学生を対象にした犯罪が新聞やテレビ、ネット等で見られない日はない。

あと数ヶ月で小学校を卒業し、中学校へ進学する子どもたちは、おそらく多くの割合で自分専用の携帯電話を持つことになるだろう。実際に、「中学校へ行ったら、ケータイ持ってもいいって。」と嬉しそうに話す子どもがいる。

卒業を控え、中学校へ進学する前に本格的なインターネットの世界に飛び込む前に、携帯電話やインターネットについての正しい知識や正しい使い方、正しいマナーを、そして適切なコミュニケーション能力を身に付けて卒業させたい、犯罪などに巻き込まれてつらい思いをさせたくないという願い、本題材を設定した。

8 研究テーマに迫るための手立て

①緑区小学校情報・視聴覚研究専門部会の研究テーマ

自ら学び続ける子どもを育てるための情報・視聴覚機器をいかした学習の推進 ～明日の授業に役立つ教材・機器の活用～
--

②テーマに迫るための手立て

大型液晶テレビと書画カメラやノートPCの活用

普段の授業では教科を問わず、書画カメラを意図的に使用している。子どもたちが書いたノートを拡大して説明させたり、教科書や資料集の写真や絵を拡大・縮小して見せたりすることで、場面を限定して児童の視線を集中させるようにしている。本単元では視聴覚機器も扱うが、中心となるのは情報教育そのものである。

また、本単元においては SNS 系のアプリを使用した結果から学ぶだけではなく、どうしたら事故や事件が起きなかったか、日常からどのようなコミュニケーションをとるべきかという観点で学びを深めたい。

9 活動計画 (全8時間 総合8時間)

ネットマスターになろう ～正しいマナーを身に付けよう～

オリエンテーション (1 h)

- ・ 単元全体の学習の流れを確認する。
- ・ 携帯電話やスマートフォン、インターネットについて知っていることや知りたいこと、学びたいことを発表する。
- ・ スマートフォンの機能について概略を説明する。(パワーポイント)

携帯電話でネットを使う上でのマナーを考えよう (1 h) (本時)

- ・ 「知っていますか? インターネットにひそむこわさ」ワーク1について話し合う。
- ・ 「知っていますか? インターネットにひそむこわさ」ワーク2について話し合う。
- ・ 「わたしたちのルールやマナー3か条」を考える。

インターネットについて知ろう (1 h)

- ・ インターネットについて知っていることを発表する。
- ・ メリットとデメリットについて討論する。

よくあるトラブルについて知ろう (3 h)

- ① ネットでのトラブルについて体験談を発表する。
 - ・ よくあるトラブルについて動画 (NHK・いじめをノックアウト『ネットでトラブル! ? どう切り返す? 』) を視聴する。
- ② メールやLINEでのトラブルについて話し合う
 - ・ 反省点と改善点を発表する
- ③ ゲーム課金でのトラブルについて話し合う
 - ・ 反省点と改善点を発表する。

わが家のルールを見直そう (1 h)

- ・ 今現在のわが家のルールを発表する。
- ・ これからわが家でできそうなルールを考える。

ネットマスターになろう (1 h)

- ① フィルタリング等の設定を知る。
- ② 互いが気持ちよくコミュニケーションできるやり取りの仕方を考える。
- ③ 学習感想文を書く。→ 2月の学習発表会で希望する児童は発表する。

10 本時目標

携帯電話でネットを使う上でのマナーを身に付けようとする。

11 本時展開（2／8時）（用意するもの：スマートフォン、ノートPC、書画カメラ、大型液晶テレビ）

学習活動と内容	支援（○）と評価（☆）
1 本時のめあてを確認する。 携帯電話でネットを使うときのマナーについて考えよう	○学習の流れを確認することで、本時の見通しと安心感をもたせる。
2 「知っていますか？インターネットにひそむこわさ」ワーク1について話し合う。 ・ 個人情報が勝手にネットの世界に広まってしまう。 ・ 個人情報を悪用されてしまう。 →グループごとに出た考えをクラス内で発表する。	○自由に発言しやすい雰囲気づくりを心がける。 ○最初は個人で考え、ワークシートに記入させる。その後、4～5人の小グループに別れ、意見を出しやすい環境にする。 ○書画カメラでワーク1の文章を拡大提示する。 ○実際のプロフサイトを見せる。 ○ネットに流出した個人情報は拡散し、人権を脅かす深刻な問題に発展する可能性がある。
3 「知っていますか？インターネットにひそむこわさ」ワーク2について話し合う。 ・ 悲しい。友達に会いたくない。 ・ 個人情報がネット世界に流出したことに気付いていない。 ・ ひどい。相手のことを考えていない。 →グループごとに出た考えをクラス内で発表する。	○書画カメラでワーク2の4コママンガを拡大提示する。 ○4と同じグループで話し合わせる。 ○一度ネット上に拡散したデータを消すのは不可能に近いからこそ、よく考えることが必要。 ○情報の送り手と受け手によって、とらえ方が異なる怖さを確認する。
4 「わたしたちのルールやマナー“3か条”を考える。 ・ むやみやたらに個人情報をネットに流さない。 ・ 写真をアップロードするときには、本人の確認や許可をとる。 ・ ネットでも相手の気持ちを考える。	○振り返りの時間を確保し、次時への意欲を高める。 ○個人で考えて共有化を図る。 ☆自分なりのルールを考えることができたか (発言やワークシート)

12 参考資料

- 人権学習ワークシート集 一人権教育実践のために 第14集（小・中学校編）－／平成26年2月版
- わが子のスマホ・LINEデビュー 安心安全ガイド／小林直樹著／日経BP社／2014年3月18日出版
- 考えようケータイ／NPO法人企業教育研究会
- みんなで考えようケータイ／NPO法人企業教育研究会
- 考えよう、ケータイ スマートフォン／NPO法人企業教育研究会